

小平市立小平第十二小学校

(様式 4-2 : 平成 29 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称 : 「東京都の地図探検」					
2. テーマ : 多摩都市モノレールから交通網の役割について考えよう					
3. 実施教科 : 社会科					
4. 関連単元 : 「わたしたちの東京都」～はりめぐらされた交通網～					
5. 実施単元数 : 1					
6. 学年	4 学年	7. クラス数	2	8. 児童数	56 人
9. 実施内容					
単元名 : 「わたしたちの東京都」～はりめぐらされた交通網～					
指導のねらい : 社会科の学習指導要領の第 3 学年及び第 4 学年の目標と内容より					
目標 (3) 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。 内容 (6) - (イ) 県 (都、道、府) 全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置					
上記に基づき、東京都の交通網について社会科で取り扱い、多摩都市モノレールの位置と多摩地域の中での役割を学ぶ。さらに多摩都市モノレールの特徴であるエコな乗り物の特徴や、バリアフリーへの取組などを学び、地域の人々や産業を支える交通について理解を深める。昨年度は「乗り物とエコ」の学習を総合的な学習の時間で取り扱い、理解を深めた。今年度は環境に優しい乗り物であるモノレールのよさや、沿線に住む人々の思いやこれからの願い (武蔵村山市の延伸の取組) についてさらに理解を深め、自分や家族が利用するモビリティ選択の中で活用できるようにしたい。					
10. 学習のながれ					

指導計画案：

学習のねらい（時）	○主な学習活動
都内の主要交通について知り、多摩都市モノレールに関心を持ち、学習課題を考える。（第1時）	○都内の主要路線を白地図にまとめ、都心に向かう路線が多い中、多摩都市モノレールは多摩地域を縦断する形で作られていることを理解し、関心をもつ。さらに詳しく調べたい、知りたいことを探し、学習課題をたてる。
多摩都市モノレールと地域のつながりを理解する。（第2時）	○モノレールができることで地域の人々にどんなよいことがあったか調べる。路線延長の話題にふれる。
武蔵村山市のモノレール延伸についての取組を知る。（第3時）	○電車路線のない武蔵村山市の人々の思いや、行政の取組について知る。ゲストティーチャーを迎える。
多摩都市モノレールの見学で、エコな乗り物であることやバリアフリー対策、地域とのつながりについて知る。（第4時）	○モノレールの駅に行き、駅員さんなど実際に働く人の話を聞く。モノレール自体の工夫や、安全対策などについても見学し、乗る人の安全や快適につながっていることを理解する。
多摩都市モノレールの学習を通して学んだことをポスターにまとめる。（第5時）	○これまで学習したモノレールの良さや、地域の中での意義を、グループごとにポスターにまとめる。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

